

グループホーム 可也 桜の里

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		

グループホーム 可也 桜の里

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域在宅者の支援のための会議に毎回参加している。またベルマーク集めやペットボトルキャップ集めなどを行っている。</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価の結果については、運営推進会議、チーフ会議、家族会、全体会議などで公表し、改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議で話し合われた議題は、チーフ会議、全体会議、家族会などで取り上げ話し合っている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>居宅介護支援事業所の連絡会議など、この地域は連絡会が充実しており頻繁に話し合いが行われている。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>これらの制度の講習会にはスタッフを出来るだけ参加させるようにしているが、スタッフ全員が制度を把握しているわけではない。また必要な家族への提案なども行っている。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>全体会議等や朝礼時等で注意を促しているが、入居者への対応が入居者にとってストレスにならないよう早期発見に気を配っている。</p>		

グループホーム 可也 桜の里

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>ご家族との関係作りの第一歩である契約時は十分に時間を取り大切にしている。また解約後もいつでも相談してもらえるような対応を心がけている。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>不満や苦情になる前の要望の段階で気軽に相談してもらえるよう、日頃より心がけている。必要であればチーフ、ケアマネと対応についてミーティングしている。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ケアプラン変更時はもちろん、通常よりご家族とは頻繁に連絡を取り、状況の報告や相談を行っている。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議や家族会を行い運営の透明性を図っている。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>管理者との報告、連絡、相談は頻回に行っており、スタッフが話し合っただけのことに対し助言する体制を取っている。また日頃よりスタッフとの関係作りに努めている。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>チーフの調整によりスタッフ間で柔軟な対応を行っている。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>本人のステップアップやスキルアップを考えると離職もやむを得ない場合もあるが、チームワークの大切な仕事であるため、日頃より気を配っており、ご家族への対応も時間をかけ引き継ぎを行っている。</p>		

グループホーム 可也 桜の里

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	<p>家族のような生活を理念でも唱っており、幅広い年齢層の職員が必要と考えている。また、介護だけでなく様々な職歴や経験は必要なことだと考えている。</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>尊厳は理念でも毎朝唱和しており、その意味についても常々スタッフには再確認している。</p>		
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>スタッフの勤務体制の調節や確保などとても難しいが、出来る限り各講習会、勉強会には各スタッフの参加を促している。</p>		
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>この地域は連絡協議会などがとても充実しており、様々な会議により交流も多く、お互いに施設交流も行っている。</p>		
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>休憩室の充実、休憩時間の改善や喫煙スペースの改善など行っているが、今後も話し合っていきたい。</p>		

グループホーム 可也 桜の里

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	スタッフが頑張って考えたこと、行ったことは、出来るだけ把握し、声をかけるようにしている。また賞与に反映できるように法人に報告している。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居に至るまでに必ず本人との面談を行い、本人の話を聞き、本人の思いを受け止める様にしている。		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居の相談から利用に至るまでに、こまめに連絡、報告をしている。又、家族の話を聞く機会を利用までに何度か行う様にし、職員会議にて対応、方法を考えている。		
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族と他のサービス利用も含め、本人にとってどのようなサービスが合っているかを考え面談する。管理者、チーフ、ケアマネにて会議を行い検討している。		
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して過ごして頂けるように家族、本人と話し馴染めていける様に支援している。家族、職員間での話し合いの場を作り入居日を決めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人と共に会話をしながら一緒に過ごしている。本人が何をしたいか等本人の気持ちを考え、支援し一緒に楽しめる場所作りを心掛けている。		

グループホーム 可也 桜の里

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	1ヶ月に1回は会って話せる様に連絡を取り本人にとって何を必要としているのかを一緒に考えている。又、その際に近況を報告しており家族と一緒に支えていける様に考えている。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族の関係を理解し、お互いに良い関係で過ごして頂ける様に支援している。又、家族へ行事参加を促し、交流の場をもうける様にしている。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の許可を頂き、面会の支援をしている。又、ドライブ等で本人の馴染みの場所に行ける様に支援している。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	作品制作・家庭菜園の共同作業や団欒の場を設けるなど、関わり合える環境づくりに努めている。コミュニケーションの援助やトラブル防止・対応の支援とともに、個別でのケアも行っている。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居後でも家族へ連絡、又、本人との面会等の許可を頂き面会に行く様にしている。生活状況や分からない事を家族、本人がいつでも聞けるように機会を設けている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	コミュニケーションを密に希望、意向の把握に努めている。御家族や関わって来られた方からの情報も収集し又、本人から得られた情報も御家族へお伝えし、情報の共有に努めている。		本人の思いや希望と御家族からの要望に違いがある事も多く、本人から御家族へ伝える事が出来ない場合もあるので、職員が良き代弁者となれる様に心掛けている。

グループホーム 可也 桜の里

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居に際しての面談、アセスメントに包括的自立支援プログラムとセンター方式の2種を活用している。 新たな情報が出てきた時は、関係者に確認し、状況の把握に努めている。		本人や御家族でも曖昧な情報もあるので、情報の確認について関係者の協力を得ている。
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々のケアや記録、受診経過ファイルの活用や、申し送り等をもとに担当者を中心に各職員と情報共有に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当者を中心に、本人や御家族、職員からの情報収集と各関係者からの助言を元に計画の作成、見直しを行っている。		在宅復帰など、御家族との意見の違いで困難なニーズも出て来ているので、少しでも本人の意向、希望へと前進できる計画を作っていきたい。
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日々の観察やケアを行っていく上で、抽出された課題について、担当者を中心に検討をし、必要に応じて計画見直し、作成を行っている。 基本 1回/3ヶ月 計画見直し作成		
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録を通して気づきや工夫、連絡事項等がどの職員へも伝わるよう努めるとともに、日々のケア、計画に反映するようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	御家族、協力機関とも協力し、柔軟な支援に努めている。 又、他事業所とも日頃より連携をし協力体制、構築にも取り組んでいる。		当施設で対応出来るもの出来ないものを職員間でも認識し、困難事例に関しても、対応できるよう検討している。

グループホーム 可也 桜の里

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアによるマッサージ、踊りの披露や運営推進会議等での協力を得て、施設での生活に反映していけるよう心掛けている。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域の事業所やケアマネ、福祉用具事業所等と連携を取り、利用可能な情報の収集、活用している。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	志摩町ネット会議参加、相談等行っている。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	連絡体制を整えるとともに、相談できる環境を作っている。日頃の状態、状況等情報を付き添い者がその時々で代弁している。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	可也病院(認知症専門医)受診や相談を行い、御家族からの希望でも御家族への面談も行われている。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	可也病院との連携、非常勤看護師と健康管理に努めている。		

グループホーム 可也 桜の里

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	入院先への訪問や病院関係者との情報交換を行い、スムーズな退院に向け支援をしている。		退院後戻って来られる方でも、入院と同時に一旦退去される方もあり、その場合の情報交換が困難で再入居について希望にそえない事があり、今後の課題となっている。
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	個々の事例に対し本人、御家族の希望を受け職員で話し合いを行い、本人、御家族、関係者と十分に検討していくことにしている。 施設方針を共有している。		
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	主治医、協力病院とも相談しながら、施設方針を作り御家族、本人へも説明を行っている。医療連携体制を行っている。		現在までに、終末期を迎える方がいないので、今度も方針見直し検討が必要になってくると思われる。
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	関係者との情報交換を行うとともに、本人へ伝えることにおいても御家族や関係者と十分に話し合いを行っている。退去の日程などの確認を行い、本人のサポートに努めている。		住み替え後のフォローまで支援していきたいと考えている。居宅や施設のケアマネへの協力体制
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	本人の生活歴など情報収集に努め、それに対する思い入れなど尊重するよう心掛けている。記録や申し送りについて、場を変えるなどの配慮を心掛けている。		

グループホーム 可也 桜の里

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者とコミュニケーションをとり、本人の意思を優先できるような声かけで決定の促しを行っている。		コミュニケーションを図り、本人の思いを尊重し傾聴している。
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の意思を大切にし、その方のやりたいことを優先して楽しんで頂く様支援しており、希望に応じてドライブ・買物・散歩の支援を行っている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	散髪は、本人の希望に応じて対応している。お洒落に関しては女性の場合、希望に応じてマニキュア・化粧など行い、お洒落を楽しんで頂く様支援している。		今までの環境を大切に、その人らしい格好をして頂いている。
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	湯呑み・箸などは、本人の使い慣れたものや使いやすいものを準備し、食事の盛り付けも彩りよく食事がすすむよう工夫している。		
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	主治医や栄養士の指導のもと、本人に合わせた支援を行っている。		月に1～2度手作りおやつの日を設けたり、誕生会では、手作りケーキを提供したりしている。
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	入居者一人ひとりの排泄パターンの把握に努め、排尿・排便の支援を行っている。		出来る限りオムツを使用しないケアを心がけ、トイレでの排泄を促している。例：RHパンツ 布下着

グループホーム 可也 桜の里

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居時に本人や家族とお話をし、入浴時間やケア法などを決めている。又、入居後も本人の希望や状態に応じて、その都度見直しを行っている。状態に応じて、週1回程度の足浴の支援も行っている。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個々の状態に応じて昼寝の時間を設けたり、就寝時間にも配慮している。眠れないときなどその時々でテレビを観たりなど、声かけや見守りも行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人や御家族との話しや日々の状態・生活歴・能力に合わせた個別活動やレクレーションを取り入れている。又、入居者全員で家庭菜園に取り組むことによって、入居者間の交流を図っている。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	紛失などトラブル防止のため、本人・家族へお話をし、基本的に金銭はホームに預けて頂くこととしている。買物希望や一緒に行くなどの支援をしている。		買物時の精算を本人が行えるよう援助したい。
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	曜日別に散歩や外気浴の日を設けている。そのほかにも希望などに対応し、ドライブ等の外出支援も行っている		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ドライブや行事で、近場だけでなく、本人の希望の場所や遠くへ出掛ける事なども計画し支援している。また、家族と連携をとり、家族との時間を楽しくて頂けるよう支援している。		

グループホーム 可也 桜の里

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望の際、電話が出来るよう支援している。又、自筆の年賀状を出すようにしている。		今後、来た手紙になどの返事を書いて頂くなどもしていきたい。
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	知人・友人などの面会について、キーパーソンの了解も得た上で支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っていない。勉強会を行ない、無意識の拘束にも注意している。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は出入り口の施錠をしていない。入居者の所在確認を行い、事故なく安全に生活して頂ける様に努めている。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入居者の所在や行動など把握に努め、見守りの工夫も行っている。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険物は、所定の場所に保管し、1回/日の数量チェックを行っている。縫い針やハサミなどを使うときは、職員も一緒に行く。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	月1回の全体会議などで、事故対策など検討し、日々のケアで実践している。又転倒等の事故が発生した場合などヒアット・事故報告書を作成し、自己要因・問題点・対策を話し合い、今後につなげている。		

グループホーム 可也 桜の里

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	勉強会や会議等行い、知識・技術の向上に努めている。急変等の対応について見直しなども行っている。		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練を母体の法人の協力のもと行っている。職員連絡網を作成し、緊急時に備えている。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	個々の入居者担当を中心に、リスクを分析し、家族等に連携・協力を求め、対応について話している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	朝1回のBTチェックと状態よっての観察を行っている。体調の変化に気をつけ、異常の際は速やかに申し送りを行い対応している。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬・外用薬は、ホームにて保管・管理している。処方箋もファイルし、薬の確認に努めている。内服薬の変更や追加についても申し送りや受診経過ファイル等に記載し、職員全員が把握できるようにしている。家族への報告も行っている。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事や水分の工夫、適度な運動に努めると共に、主治医の指示のもと、非常勤看護師とも協力し排便の支援を行っている。		

グループホーム 可也 桜の里

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアを実施、個々に合わせた声かけや見守り・介助を行っている。本人の訴えや家族の要望などにより、歯科往診の支援も行っている。		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は専門業者に献立・食材を依頼し、1日のカロリーを確保している。適度な水分補給を促している。食事・水分の摂取量の記録をし、対応している。水分が入りにくい方は、ゼリーなどの摂取を進めている。		水分拒否がある方に、常に声かけをしている。
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	様々な感染症のファイルを作成し、いつでも閲覧できるようにしている。また母体である病院での合同勉強会などにも参加している。月1回の全体会議でも対応を話し合っている。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	布巾等は洗濯・ハイター消毒を行っている。食材は、毎日業者から届いたものを使っている。賞味期限などのチェックも行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関回りに花を植えたりと、家庭的な雰囲気づくりに努めている。		入居者と共に看板を作り、出入口や玄関などに設置する計画をしている。
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	山や田んぼが近くにあり、季節感を感じることができる。廊下から光が入り、各部屋も明るい空間になっている。		

グループホーム 可也 桜の里

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの隣に談話コーナーがあり、ソファやテーブルを置き、くつろげる場所としている。本人の好きな場所、落ち着ける場所で過ごせるよう支援している。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具や食器等使い慣れたものを使って頂ける様支援している。家具やベッドの位置など、本人が過ごしやすいよう本人・家族とも相談しながら設置している。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	居室や廊下の窓の解放や換気扇で、換気を行っている。入居者の声や室温計により、入居者が過ごしやすいよう空調を調節している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	引き戸や廊下全体に手すりを設置し、安全かつできるだけ自立できるよう努めている。また家具等の設置についても危険因子とならないように注意している。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	プライバシー・個人情報にも配慮し、本人・家族の了解を得て、居室入口や靴箱等に名札を貼り、部屋間違いなど混乱を予防している。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダで家庭菜園を作り、入居者協同で水やりや収穫などを行っている。職員は、計画や声かけ・見守り、作業の手伝いをしている。職員と一緒に、ベランダで洗濯物を干し、外気浴の良い機会となっている。ホームの庭に植物を植えベンチを置くなどし、外気浴や外でのレクリエーションの機会を作っている。		

グループホーム 可也 桜の里

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム 可也 桜の里

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)